

会議の概要

会議の名称	令和6年度 第4回 津島市子ども・子育て会議
開催日時	令和7年2月12日(水) 午前10時00分から
開催場所	津島市生涯学習センター 第6会議室
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画に関する意見募集の結果について</p> <p>(2) 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画素案について</p> <p>(3) その他</p> <p>3 閉会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画【素案】(最新版)</li> <li>・ 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画(案)【令和7年度～令和11年度】(子ども向け計画概要)</li> <li>・ 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画(案)に関する意見募集の結果</li> <li>・ 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画 新旧対照表(第3回津島市子ども・子育て会議からの変更点)</li> </ul>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	1人
出席委員 (敬称略)	<p>渡辺 桜 宇治谷祐司 猪飼 真里</p> <p>岡本 厚子 山田 雄司 伊藤 雅道</p> <p>花野 美和 星野 武史 佐藤 容子</p> <p>田中 和夫 平賀 美紅 澤村 知伸</p>
欠席委員 (敬称略)	<p>渡辺 雅樹 桑山 久恵 濱島 達代</p> <p>浅井 純子 神野美智子 横山亜矢子</p>

議事内容

1 開会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・資料確認</li> </ul>
2 議題	(1) 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画に関する意見募集の結果について
事務局	<p>資料「第3期津島市子ども・子育て支援事業計画（案）に関する意見募集の結果」、「第3期津島市子ども・子育て支援事業計画【素案】（最新版）」、「第3期津島市子ども・子育て支援事業計画（案）【令和7年度～令和11年度】（子ども向け計画概要）」に沿って内容説明</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今のご説明に対する質問やご意見などがありましたらお願いいたします。</p> <p>6件のご意見をいただけたということでもとても貴重なご意見だったのかなと思います。</p> <p>意見に対する考え方として、今は「これをやります」ということは言えないにしても、「今後こういう選択肢があるのではないか」というご提案も、とても参考になるかなと思うので、ご意見いただければと思います。</p>
委員	<p>こども向けPDFに対する意見について、これは「はい」か「いいえ」で答えるものではないでしょうか。</p> <p>「内容が理解できますか」という質問なので、「はい」か「いいえ」で答えていただいて、「いいえ」なら「こういうことをします」、「はい」なら「完成です」というかたちになると思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>こどもが理解できる内容ということですが、「こども」と言っても年齢が色々ある中で、こちらとしてはこども向けの計画案は急遽作ることであり、他の自治体を参考にしながら作成したのですが、なかなか時間も足りず、解釈・説明が不足している部分もあるかと思っています。</p> <p>そのため、「内容が理解できますか」というご意見に対しては、「いいえ」という形にならざるを得ないと考えています。</p> <p>確かにこれについては難しい課題ですが、今後より一層分かりやすいものを作っていく、という形にしたいかと思っています。</p> <p>「内容が理解できますか」に対して「はい」と答えるのはこちらとしても難しいかと思っていますので、「はい」か「いいえ」の選択肢だと、「いいえ」ということになるかと考えています。</p>
委員	<p>恐らくそういうことだろうと思いましたが、「これでは理解できない内容でした」ということは、追記しておいた方が良くかと思っています。</p> <p>一生懸命作っていただいたというところを見せていただくと、より良いのかなと。</p>

事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>こちらの方につきましては、また追記して回答を考えたいと思います。</p>
委員長	<p>こどもだけで見る想定なのか、大人と一緒に見るのかというところでもまた違ってくるのかなと思います。</p> <p>こどもだけで見ても分かりやすいというのは、今後もこどもの声をしっかり聞いていくという、「こどもまんなか」ということを国もとても強調しているので、重要になるのかなと思います。</p> <p>私も一番ここが、皆さんの意見を聞きたいと思ったところなのですが、他の委員の皆様から、「分かりやすい」といった時に、どのような選択肢があるのかをお聞きできると、もちろん全部が取り組み可能ではないかもしれませんが、例えば子育て中の方で、うちの子だったらこうすれば分かるのかな、ということがもしあれば教えていただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>このようにしたら分かりやすい、ということであれば、例えばイラストや写真など、具体的な例があると、子どもたち、とくに小さい子が見た時に分かりやすいかと思います。</p> <p>中学生くらいになると読めると思いますが、低学年や未就学児が見るのであれば、イラストや写真があるといいかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、見ようと思うきっかけですね。</p> <p>私が思ったこととしては、例えばQRコードを読み込むと、30秒や1分程度の動画のようなものがあると、ちょっと見てみようだとか、どういことだろうと気になって、おうちの方に聞くきっかけになるとか、あなたたちの意見も聞きたいというメッセージが届くきっかけになるといいのかなと思います。</p> <p>他市を参考にされたとのことですが、これを計画されたことはとても意味があるので、今後も恐らくこどもの意見を聞いていく機会がどんどん増えていくということは自治体に求められていくことなので、今のご意見を含めて色々なご意見を参考にしたいと思います。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>昨年も同じような話になったと思うのですが、この6件3名からの意見というのは、多いのか、少ないのか。</p> <p>12月24日から1月23日まで、ほぼ一か月間ある中で、それだけの方からしか回答されていないということが、少し気になっています。</p> <p>また、置く場所や公開方法についても、昨年も少しお話したんですが、もっと保育園とか子どもがいるところ、母親の目に付くところに置いてはどうかという案が出たかと思いますが、それは改善されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>置く場所につきましては、説明した通り、市役所関係の施設というこ</p>

	<p>とで、保育所等には置いてはいません。</p> <p>ホームページ等での閲覧や、バーコードで該当ページに飛べるようにする等はさせていただき、保護者の方でも見やすいようにと考えていたつもりです。</p> <p>件数につきましては、3名6件ということで、お一人から4件いただいて3名というところなので、こちらとしてはもう少しご意見をいただきたいと思っておりました。</p> <p>周知方法については、皆さんにまず見ていただかないとご意見をいただくことができないため、もっと皆さんに幅広く見ていただけるような周知方法、今回ですとインスタグラム等のSNSが増えてきたので、そういったところは増やしていき、また子ども・子育てアプリを登録されている方には情報を流したので、そういう点では、子育て中の保護者の方にもこういうことがあったという周知は皆さんにも見ていただいたと思うので、その方が計画まで見られたかということはこちらでは分かりかねますが、一歩踏み出したとは思っていますので、これからはより分かりやすいご意見をいただけるような周知方法を考えていかなければならないと思っています。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>周知の仕方と、見てみようという入り口も大事かもしれません。</p> <p>字だけだと、「ちょっといいかな・・・」となってしまうので、この3名の方は、よくぞ意見をくださいました、というところだと思います。</p>
委員	<p>以前、中学生のこども議会というかたちで、会議をして何かを提案するというような話があったと思うのですが、その中の議題の一つに取り入れていただき、話し合いをしてもらうというところは考えていませんか。</p>
事務局	<p>教育委員会の方で、かつて議場を使って子ども議会を開催したことがありました。</p> <p>実際に、この子ども条例推進計画の中でも、第2期の時にはそういったことも記載していましたが、教育委員会に今回、第3期を作成するにあたって確認したところ、今のところ子ども議会を開催していく予定は無いというご意見でございました。子どもたちの意見聴取にあたってということで、今回から書きぶりを少し修正させていただき、第3期にあたっては、学校の先生達が子ども達に寄り添って、一人一人にアンケートとかで意見を聞くようなかたちで意見聴取を行っていくというように変えさせていただいております。</p>
委員長	<p>その他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>この資料に「幼児保育課」と書いてあるのですが、そういう課があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>次の議題で説明させていただきます。</p>

	<b>(2) 第3期津島市子ども・子育て支援事業計画素案について</b>
事務局	資料「第3期津島市子ども・子育て支援事業計画 新旧対照表(第3回津島市子ども・子育て会議からの変更点)」、「第3期津島市子ども・子育て支援事業計画【素案】(最新版)」に沿って内容説明
委員長	今のご説明に対して、質問や意見などがありましたら、お願いいたします。
委員	<p>幼児保育課と子育て支援課に分かれるとのことですが、これはどういった意図のもとに分かれるのでしょうか。</p> <p>細分化してしまうと、総合的に子育てをしていこうということをしてそれぞれ違ったかたちで進められてしまうのではと思います。</p> <p>なぜ分ける必要があるのかが知りたいです。</p>
事務局	<p>今、子育て支援課は健康福祉部というところの中にあります。</p> <p>健康福祉部では5課ありますが、その中の一つに子育て支援課があるということになります。</p> <p>そして、子育て支援課も今、市長が戦略的に挙げています子育て支援というところもあり、事業的にもだんだん多くなってきています。</p> <p>その中で、子育て支援課のキャパシティの問題があります。</p> <p>今、委員からご指摘があったように、細分化すると分かりにくくなるのではというところについては、確かにそうかもしれません。</p> <p>しかし、子育て支援課と幼児保育課に分けるにあたり、「幼児保育」では、保育所の入所等保育の関係、「子育て支援」については、児童手当や児童扶養手当、こども家庭センターというように、細分化することによって市民の方もどこに相談すればよいのか分かりやすくなるのではないかと、という狙いがあります。</p> <p>そういったところもあり、部の方も健康福祉部からこども健康部と改称します。子育て支援課、幼児保育課、健康推進課の3課で、こども健康部という名称となります。</p> <p>また、健康福祉部は、福祉課、保険年金課、高齢介護課となります。</p> <p>確かに分かりづらいかもかもしれませんが、こちらとしては分けることによって、市民の方からも「幼児保育課は幼児保育と書いてあるから保育関係かな」「子育て支援課はそれ以外かな」というように判断でき、また窓口に来ていただければこちらでも判断させていただくということになります。</p> <p>現状の子育て支援課では取り扱う事業が多い部分もあり、その辺りを細分化して分かりやすくしていこうというところの趣旨がございます。</p>
委員長	恐らくこれまで通り連携はしっかりされていくのかなと思います。他にはいかがでしょうか。
委員	他市の場合、課と課が合体して、人員が減らされて、回るものも回らないというような状況が生まれているところがあると聞いたことがある

	<p>のですが、逆に課と課が分れることによって、人員が増加されて、より分厚い仕事ができるというような形になるのでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>非常に良い提案ですが、実は子育て支援課の職員は現状のままで、課が分かれるだけとなります。</p> <p>子育て支援課の枠が広いため、それを分けるということになります。</p>
委員長	<p>恐らく人員が一番難しいところなので、限られた人員の中で、より専門性や役割を明確にして、連携をしてというところで、まずはやっていくのかなと思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>対照表の3ページが一番上で、「ヤングケアラー」という言葉が追記されたとお聞きしました。</p> <p>私たちは小中学校のPTA連合会ですが、小学校でももしかしたらあるかもしれませんが、中学校になってくるとヤングケアラーについても考えていかななくてはならないと思います。</p> <p>私たちPTA連合会としても、今ちょうど年度末で申し送りを考えているところですが、このヤングケアラーのことを申し送りに入れておいた方が良い状況なのかどうか教えていただければ、また申し送りの方に加えていきたいと思います。</p> <p>また、現状、津島市はどのような状況なのか教えてください。</p>
事務局	<p>現状ですが、国の方では令和4年度から6年度にかけて、ヤングケアラーの強化3か年ということで、この3年間で国・県の方でヤングケアラーの支援体制をつくり、来年度から本格的に支援を始めるということを言われております。</p> <p>津島市におきましても、国や県の計画を受け、これまで小学生と中学生の方でヤングケアラーのリーフレットを置かせていただくというかたちで周知活動を行ってきており、またこども家庭センターがヤングケアラーの相談機関であるというかたちで周知はさせていただいていますが、まだ本当にこれからという状況です。</p> <p>現実的には、ヤングケアラーではないかというようなご相談も、本当に数としてはまだまだ少ないのですが、中学校から受けてはおります。</p> <p>今後につきましても、学校の先生方、介護の方、教育、福祉、医療の方々、主任児童委員の皆様も含め、ヤングケアラーとはどのようなお子さんのことをいうのかというところを、まず皆さんに知っていただくことが、私たちが来年度以降やっていかなければならないことだと思います。</p> <p>そして、こどもたち自身も「ヤングケアラー」という言葉は、何か聞いたことがあるけれどもよく分からない、という状態だと思いますので、こどもたちに対してもヤングケアラーについて話をしていく機会を持つ</p>

	<p>ていきたいと思っております。</p> <p>引継ぎというかたちでお話をしていただけるのであれば、私たちも一緒にやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>また、文言として引き継いでいきたいと思います。</p>
委員長	<p>一つ、私から質問なのですが、PTA連合会で情報をキャッチするというのは、どのようなかたちで共有されているのでしょうか。</p>
委員	<p>今現状ですが、PTA連合会として、なかなか学校側が個人情報を出してくださらないので、正直に申し上げて、学校からそれをPTAがきくということはまず無理です。</p> <p>同時に、主任児童委員でも、ギリギリそのような情報が集められるかどうかといったところで、学校側は情報の提供が難しいところがあるのだろうと思えます。</p> <p>また、地域からはそういったことは噂として聞こえてきますし、学生服を着た子どもが買い物をしていれば、「あれ？」と思うこともあるので、できるだけ周知を徹底すれば、ネットワークの中で対応していけるのではないかということは期待をしている状況です。</p> <p>とにかく周知ということを送ります。PTA連合会は単年度なので、周知をしていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>きっと埋もれていってしまう方々なので、ご本人が声を上げることがまず無いということになると、周囲が気付いて、個人情報の限界はあるかと思えますが、こういう情報があるということ例えばこども家庭センターにお伝えする、共有する、学校に挙げて、学校はもちろん個人情報の関係で伝えられないと言っても、その情報をこども家庭センターと共有するというようなかたちで、アンテナを高くしていかなければならないと思えます。</p> <p>恐らくヤングケアラーの問題は貧困や虐待とも関係しており、その人の人生にかかわる問題であると思えますので、色々な人の目で見つめていくと良いのではと思います。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>根本的な話で申し訳ないのですが、事業計画の中にある「量の見込み」という言葉がありますが、そこに対して何か定義する言葉を書いておかなくても良いのでしょうか。</p> <p>見込値はこのようにして数値を出しています、という根拠は書かなくてもよいのでしょうか。</p> <p>資料の後ろに用語解説があつたりするので、量の見込みの下には「必要利用定員総数」とありますが、この「必要利用定員総数」とは何なのかと疑問に思った時に、用語集等でその説明があると、津島市はしっか</p>

	<p>り量の見込みを算定していて、それに対してしっかり仕事をされた、人数の確保ができていたということが分かりやすくなるのではと思います。</p> <p>漠然と見込が数字だけが示されていると、本当にこの数字が正しいのか、と思われてしまうかもしれません。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>量の見込みにつきましては、ここにいらっしゃる委員の皆様については、積算についてアンケートを行って国の指針に基づいて計算したのが一義的な量の見込みであり、ただ実際の市町村の状況によって変更はしているという話はしてきたと思っております。</p> <p>ただ、この中にそこまでのことは書いていないので、確かにこれを見られた市民の方が、この量の見込みとは何なのかという疑問は持たれるかもしれないため、その辺りはどこまで記載できるかというところはありますが、教育・保育の方では細かく書いていたかと思いますが、それ以外の地域子ども・子育て支援事業につきましては、計算の方法等の詳細は書いていないので、量の見込みは基本的には国の指針に基づいたものである等、そういった案内をしたうえで、何か書き足すことができればと思います。</p> <p>ページの都合があるので今回入れられるかは分かりませんが、今後の計画の中で、そういったところも分かりやすくしていくような形での構成を考えていきたいと思っております。</p>
委員長	<p>パブリックコメントにも書いてありましたが、恐らくボリュームの限界もあるかと思いますが、工夫できる範囲で示していただけると、「これはどうなっているのか」ということもやはり思われるのかなと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
	<p><b>(3) その他</b></p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の議事録は後日郵送</li> <li>・会議の内容を踏まえ計画を策定し、完成した計画は後日郵送</li> <li>・今回の会議が委員の任期中の最後の会議となる。来年度以降も子ども・子育て会議は続くため、各団体等に委員のご推薦をお願いしたい。</li> <li>・来年度予算（審議中）について、学童（南の子どもの家）の建替え、ヤングケアラーの実態調査、ファミリー・サポート・センターの利用促進、外国人の多言語通訳対応のためのシステム導入等を検討中</li> </ul>
<b>3 閉会</b>	